

2014年1月15日、「女性研究者養成システム改革加速事業」の一環として、日本大学薬学部・薬学研究院より大坪久子先生を講師にお迎えし、本学博士課程教育リーディングプログラム分子システムデバイスコース男女共同参画セミナーと共催で、リーダー育成セミナーを開催しました。

本セミナーは箱崎地区から伊都地区へTV会議システムを用いて中継され、双方合わせて21名が参加しました。

大坪先生からは「**Beyond the Bias and Barriers**—日米にみる女性研究者支援」と題してご講演頂きました。ご講演では、まず日米における女性研究者支援の相違点として、アメリカでは**Leadership Development**が出発点であったのに対し、日本では両立支援目的であった点が指摘され、この戦略の差が後に大きな影響を与える可能性があることが示唆されました。次に、日米に共通する点として、**Bias**や**Barrier**は女性を取り囲む、あるいは女性自身に内在していること。そして性差の問題というよりも**Majority**と**Minority**の問題ではないかという点が印象に残りました。

興味深いお話が満載で公演時間を超過してしまい、質疑応答もお一人だけに限られてしまいましたが、セミナー終了後も会場にて議論を続けるなど、参加者と積極的な交流が持たれました。

本セミナー参加者からは、「具体的数字をあげて日本の女性研究者の現状が説明されていて大変参考になった」「出産・育児を体験しながらも研究を続けられてきた大坪先生ご自身のお話をさらに聞いてみたかった」などの声が寄せられ、セミナーは盛況のうちに終了しました。

